



平成 22 年 10 月 28 日

各 位

会社名 株式会社 富士通ゼネラル
代表者名 代表取締役社長 大石 侑弘
(コード：6755 東証第 1 部)
問合せ先 法務部長 加納 俊男
TEL (044) 861-7627

第 2 四半期連結累計期間業績予想との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績について、平成 22 年 4 月 28 日に公表した業績予想との差異が下記のとおり生じたのでお知らせします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 22 年 4 月 28 日発表)	87,000	4,600	4,100	2,300
今 回 修 正 (B)	92,386	6,454	5,262	2,806
増 減 額 (B - A)	5,386	1,854	1,162	506
増 減 率 (%)	6.2	40.3	28.3	22.0
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	76,923	4,124	4,029	1,802

2. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 22 年 4 月 28 日発表)	182,000	10,500	9,000	5,100
今 回 修 正 (B)	186,000	11,000	9,000	5,100
増 減 額 (B - A)	4,000	500	—	—
増 減 率 (%)	2.2	4.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	164,158	9,431	8,253	4,558

3. 差異および修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、国内・海外向けのエアコンならびに電子デバイスの売上が期初計画を上回ったことから、923億8千6百万円（期初予想は870億円）となりました。

営業利益は、上記の増収効果に加え、情報通信部門における損益改善や全社的な費用効率改善を進めたことにより、64億5千4百万円（同46億円）となりました。経常利益および四半期純利益においても、為替差損や特別損失の計上等がありました。それぞれ52億6千2百万円（同41億円）、28億6百万円（同23億円）と前回予想を上回りました。

通期の業績予想につきましては、空調機部門において、ギリシャなど欧州の一部で市況回復が遅れておりますが、好調なフランス、ドイツをはじめスペインでも持ち直し傾向にあり、欧州全体では需要は概ね堅調に推移しており、流通在庫も圧縮が進んでおります。また、インド、ブラジル向けなどの需要増加や北米での市況回復に対応したエアコンの拡販を進める予定です。情報通信部門でも電子デバイスの売上の上積みが可能であることから、売上高は1,860億円（期初予想1,820億円）となる見込みです。

損益については、部材価格が上昇基調にあり、為替相場の先行きも依然として不透明な状況が続いていることから、下半期は期初の想定よりもさらに厳しい事業環境で推移すると予想されますが、売上予想の上積みによる増収効果に加え、引き続き、全社的なコストダウンや費用効率改善等を着実に実行することにより、営業利益は110億円（同105億円）となる見込みです。経常利益および当期純利益については、上半期において為替差損および特別損失を計上したことなどを反映し、前回予想を据え置くことといたします。

以 上